



中国侵略戦争 突入のための「昭和100年記念式典」粉碎!

4.29

米帝のイラン侵略戦争を許すな! 自衛隊派兵阻止!

武道館へデモ!

大軍拡・改憲=戦時体制に突進する高市たおせ!

4月29日(水・休)

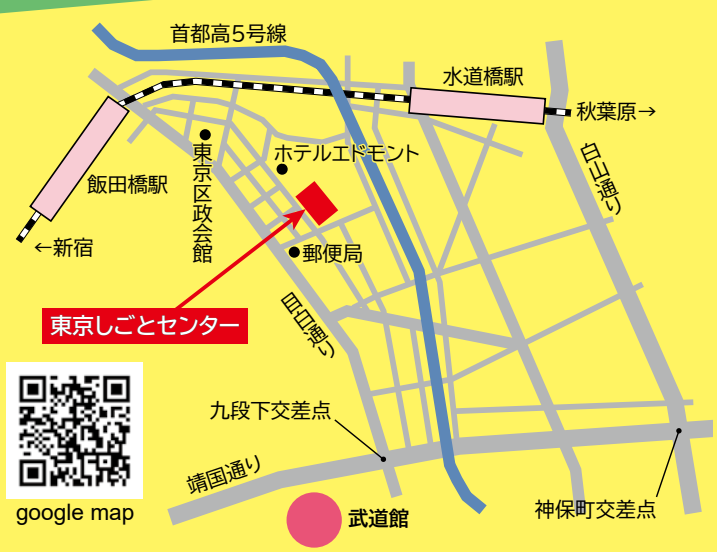
12:30~決起集会

東京しごとセンター講堂

(東京都千代田区飯田橋3-10-3 講堂は定員300名)
JR飯田橋駅「東口」徒歩7分/都営地下鉄大江戸線・東京メトロ有楽町線・南北線飯田橋駅「A2出口」徒歩7分/東京メトロ東西線飯田橋駅「A5出口」徒歩3分

★13:30 デモ出発★

4月29日に武道館で開催される「昭和100年記念式典」(政府主催、午後2時)に抗議する怒りのデモを行います。米・日帝国主義による中国侵略戦争を遂行する戦時体制をつくるものであり、断固粉碎あるのみです!



〈主催〉改憲・戦争阻止! 大行進

〈協賛〉東京労組交流センター

連絡先: 千葉県千葉市中央区要町2-8 DC会館 東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂ビル5階 tel.080-6053-1751 (本山) kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp



大行進HP

大行進X



青年学生たちはヘルメットをかぶり、機動隊と対峙して反戦デモの先頭に立った(写真は昨年10月の渋谷デモ)

米・日の中国侵略戦争を絶対に阻止しよう

アメリカ帝国主義(米帝)とイスラエルによるイラン攻撃は、イランの体制転覆を狙った100%不正義の侵略戦争、帝国主義戦争だ。トランプ大統領とネタニヤ

フ首相は、3300人以上のイラン人民を殺害している(3/22報道)。絶対に許せない!

米帝によるイラン侵略戦争は、中国と密接な関係にあるイラン現体制を崩壊させ、中国への石油輸出を断ち切り、中国を弱体化させることが狙いだ。米帝はベネズエラ軍事攻撃—中南米に続き、中東からも中国の影響力を一掃しようとしているのだ。

この戦争を実質的に支持しているのが高市政権だ。訪米してトランプと会談した高市首相は、「世界に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけ」と言った。世界に「戦争と破滅」をもたらしている者こそトランプ=米帝だ! 高市は日米軍事同盟の強化=GDP比5%の大軍拡を約束した。打倒あるのみだ。



3・20日米会談粉碎の渋谷反戦デモ

侵略の歴史の賛美 許さず、今こそ日帝打倒を

こうした情勢の中で「昭和100年記念式典」が政府主催で行われる。その狙いは、日本帝国主義(日帝)の侵略戦争・植民地支配の歴史を隠ぺい・美化し、天皇制を賛美して、再び中国侵略戦争に突入する国家態勢をつくるものだ。

木原官房長官は昨年11月の会見で、「激動と復興の昭和の時代を顧み、将来に思いを致す機会として挙げる」と述べた。「激動と復興の昭和」という言い方は、侵略と植民地支配の歴史の抹殺そのものだ。

「昭和」は1927年(昭和2年)の「第一次山東出兵」に始まり、柳条湖事件(「満州事変」31年)—盧溝橋事件(37年)—南京大虐殺(37年)—マレー上陸と真珠湾攻撃(41年)と、まさに中国・アジア侵略戦争—世界戦争の歴史だった。日本軍は2千万ものアジア人民を虐殺した。それ以前の1895年から台湾を50年間、1910年から朝鮮を35年間、植民地支配したのが日帝だった。帝国主義の本性がこの時代にある。

式典の4月29日は、天皇ヒロヒトの誕生日(現在は

「4・28沖縄デー」として闘う!

「昭和」問題の核心に、安保・沖縄問題がある。1947年、沖縄売り渡しの天皇メッセージ、52年4月28日のサンフランシスコ講和条約—日米安保条約の発行とともに沖縄の米軍統治が継続され、72年「復帰」後も基地が強化され、戦争の出撃拠点にされてきた。今も続く「基地の島」の現実を覆す「4・28沖縄デー」闘争として、沖縄の人民と連帯して4・29「昭和100年」粉碎を闘う。

「昭和の日」だ。この一事をとってもヒロヒトと天皇制(元号制) 賛美の場であることは明白だ。ヒロヒトこそ侵略戦争の最高責任者。天皇制を今こそ打倒しよう。

侵略の歴史を居直り、いま再び公然たる侵略国家として登場し、米帝とともに中国への侵略戦争に全面的に突進する日帝・高市を、闘う中国・アジア人民との連帯にかけて、絶対に打倒しなければならない。日本武道館で開催される4・29「昭和100年記念式典」を、大規模な怒りの反戦デモで粉碎しよう!